

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2023年2月20日

JAMA Netw Open :

新型コロナとインフルエンザ入院後の予後の比較 : スイス

【松崎雑感】

インフルエンザと新型コロナ、どちらが致死性的かという課題に対して、今のところでは、新型コロナの方が死亡リスクが高いという報告です。

ワクチン免疫と既感染免疫が高まったために、新型コロナパンデミックの当初よりも、致死率はずっと低下できましたが、このデータは、パンデミックアラートのポジティブな影響のもとでのデータであり、マスク、三密防止、換気など非薬物的感染防止対策がゼロとなった場合もこの程度の死亡リスク増加で収まるかどうかは予断を許しません。

新型コロナとインフルエンザ入院後の予後の比較：スイス

Portmann L, de Kraker MEA, Fröhlich G, et al. **Hospital Outcomes of Community-Acquired SARS-CoV-2 Omicron Variant Infection Compared With Influenza Infection in Switzerland.** *JAMA Netw Open.*

2023;6(2):e2255599. Published 2023 Feb 1.

doi:10.1001/jamanetworkopen.2022.55599

背景・目的

新型コロナ流行がもたらす健康影響を明らかにするために、入院後の死亡率を季節性インフルエンザと比較した。

方法

スイスの新型コロナおよびインフルエンザ統計に基づいたコホート調査。スイスの15病院において、2022年1月15日から3月15日に入院した18歳以上のオミクロン株感染者（当時B1.1.529が95%以上）と、2018年1月1日から2022年3月15日までに入院したインフルエンザA、B患者を対象とした。プライマリアウトカムは、入院後死亡率、セカンダリアウトカムはICU治療移行率とした。

結果

オミクロン株感染者3066名（女性48.4%）、インフルエンザ感染者2146名（女性51.9%）。新型コロナ感染者はインフルエンザ感染者より若かった（71才対74才； $p < 0.001$ ）。

入院後死亡率は新型コロナ7.0%、インフルエンザ4.4%（ $p < 0.001$ ）とコロナで有意増。調整後の新型コロナ入院後死亡率はインフルエンザよりも1.54倍高かった（95% CI, 1.18-2.01; $P = .002$ ）。

ICU治療率に両疾患間の有意差は見られなかった。

結論

入院後、新型コロナの死亡率はインフルエンザより有意に高かった。ICU治療率に差は見られなかった。

（考案で、入院前死亡者もコロナの方が多いのではないかとの指摘あり）